

伊平屋村橋梁個別計画

平成30年11月

伊平屋村役場 建設課

1. 伊平屋村の橋梁の現状と課題

◆管理橋梁概要

1. 伊平屋村では橋長2m以上の22橋を管理しています。

表 - 1 橋梁一覧表

	路線名	橋梁名	橋長(m)	幅員(m)
1	我喜屋ダム線	あけしの橋	96.0	9.5
2	我喜屋ダム線	こえしの橋	14.1	10.2
3	我喜屋ダム線	いちかわおおはし	12.4	9.8
4	我喜屋ダム線	あしち大橋	36.0	9.8
5	我喜屋西線	スワイザ橋	7.6	6.5
6	我喜屋2号線	中ノ川橋	7.5	5.5
7	我喜屋3号線	池川橋	7.5	7.2
8	我喜屋4号線	4-1号橋	7.3	5.0
9	我喜屋5号線	大崎橋	2.0	5.1
10	我喜屋5号線	5-1号橋	3.2	5.3
11	我喜屋29号線	花鳥橋	5.5	4.9
12	田名西線	中の川橋	8.4	6.0
13	田名5号線	田名1号橋	3.6	3.7
14	田名7号線	田名2号橋	3.8	3.5
15	田名8号線	田名3号橋	3.4	3.0
16	田名16号線	田名4号橋	3.6	4.5
17	田名29号線	田名5号橋	3.5	4.0
18	田名34号線	田名6号橋	2.6	5.0
19	ハウチナ線	ハウチナ橋	2.0	5.2
20	クマヤー線	二叉橋	2.5	6.5
21	クマヤー線	石蔵橋	3.7	6.4
22	田名桃原線	さがま大橋	27.0	10.0

2. 架設年代と供用年数

対象橋梁全22橋を架設年代、供用年数で分類すると、以下の図となる。架設年代不明の橋梁が16橋であるため、架設年代毎の区分を把握することは困難である。

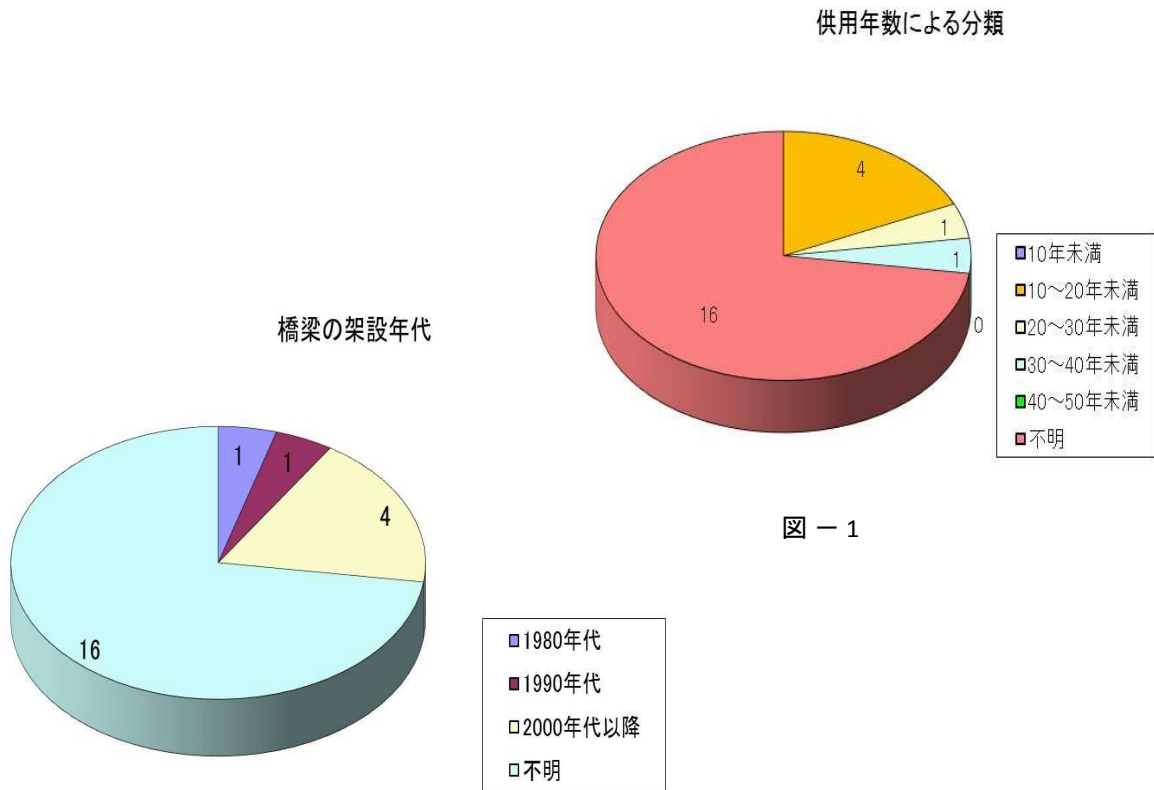
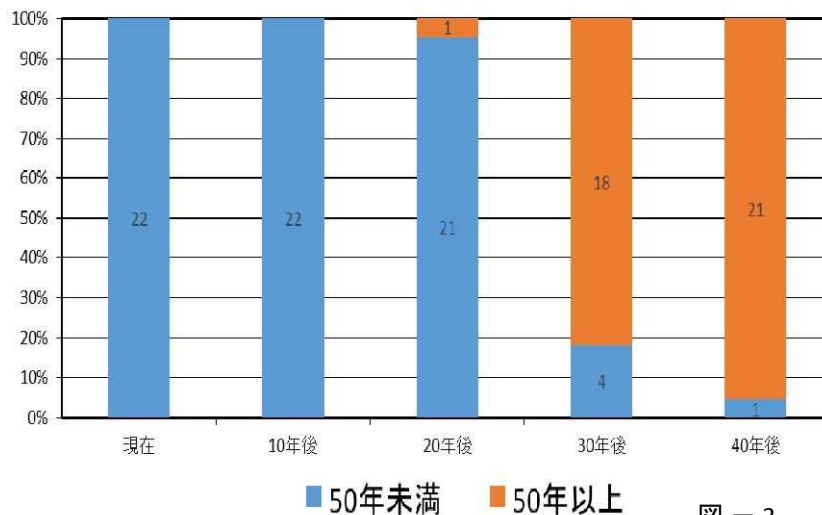


図 - 2

橋梁の耐用年数を50年とみて、現在から10年毎の将来、供用年数50年未満と50年以上の橋梁数と全22橋に対するそれぞれの割合を示したのが下図である。但し、架設年代不明の16橋は、現在の供用年数が20年～30年と想定した結果である。

現在及び10年後は、全ての橋梁で供用年数50年未満である。20年後には供用50年以上の橋梁が1橋(約5%)であり、30年後には18橋(約80%)となる。これより、橋梁の更新時期が30年後に集中することが分かる。



3. 構造形式

対象橋梁のうち架設年代の明確な6橋は下図のPC橋、RC橋に分類される。その他比較的小規模な床版橋がRC橋に分類され、ボックスカルバートは9橋がRC、1橋がPCである。鋼橋はなく、全てコンクリート橋となっている。

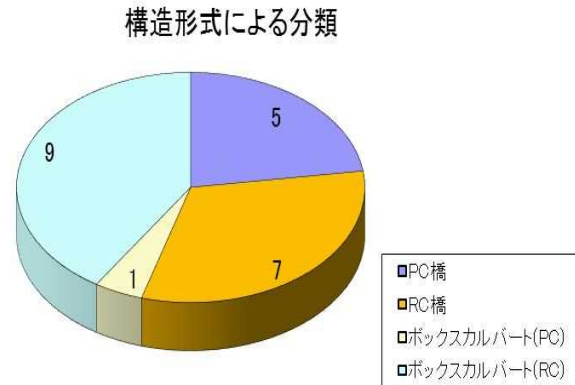


図 - 4

4. 橋長

全22橋を橋長で分類すると、半数の11橋が5m未満、8橋が5m～15m未満であり、15m未満の橋梁が19橋(86%)となっている。規模の大きい15m以上の橋梁は3橋であり、そのうち1橋が50m以上の橋梁である。

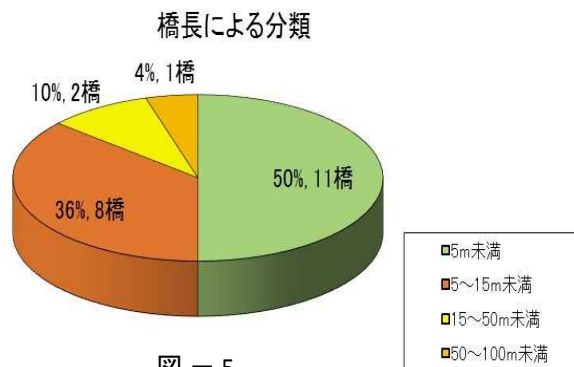


図 - 5

全22橋の橋長の区分毎に構造形式の違いを区分したのが下図である。下図より、橋長15m未満の橋梁は、PC函渠(ボックスカルバート)の1橋を除き全てRC橋となっており、橋長15m以上の3橋は全てPC橋となっている。また、函渠は10橋、橋梁は12橋でほとんど同じ割合になっていることが分かる。

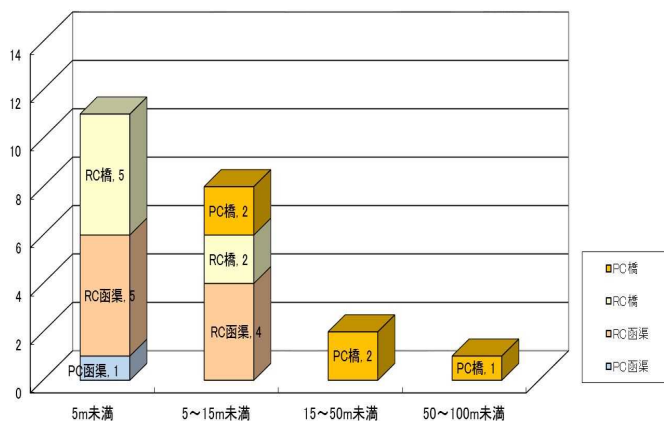


図 - 6

5. 海岸からの距離

対象橋梁22橋の海岸からの距離は、海岸から100m以内に2橋、1km以内に13橋、2km以内に7橋となっており、全橋が海岸から2km以内に位置している。

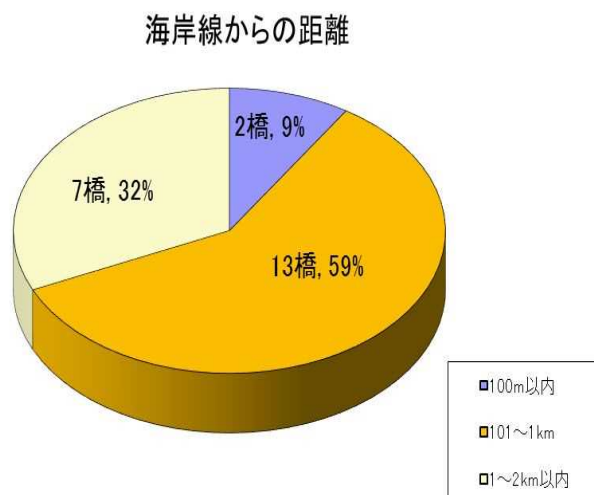


図 - 7

6. 橋梁毎の健全性による分類

対象橋梁22橋において今回点検の結果、橋梁毎の健全性の判定結果は、構造物の機能に支障が生じていない状態の健全度Ⅰが15橋(68%)、構造物の機能に支障が生じていないが予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態の健全度Ⅱが7橋(32%)であった。

早急に措置を講ずべき状態の健全度Ⅲ及び緊急に措置を講ずべき状態の健全度Ⅳの橋梁はなかった。

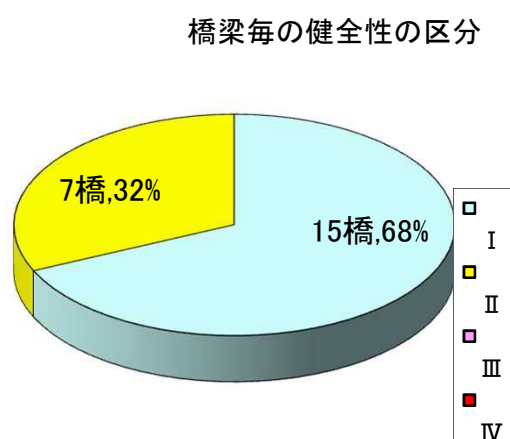


図 - 8

7. 海岸からの距離と健全性

対象橋梁22橋において、海岸からの距離と橋梁の健全性との関連を示したものが下図である。健全度Ⅱが海岸に近い側に偏っていることから、塩害の影響の可能性が考えられる。

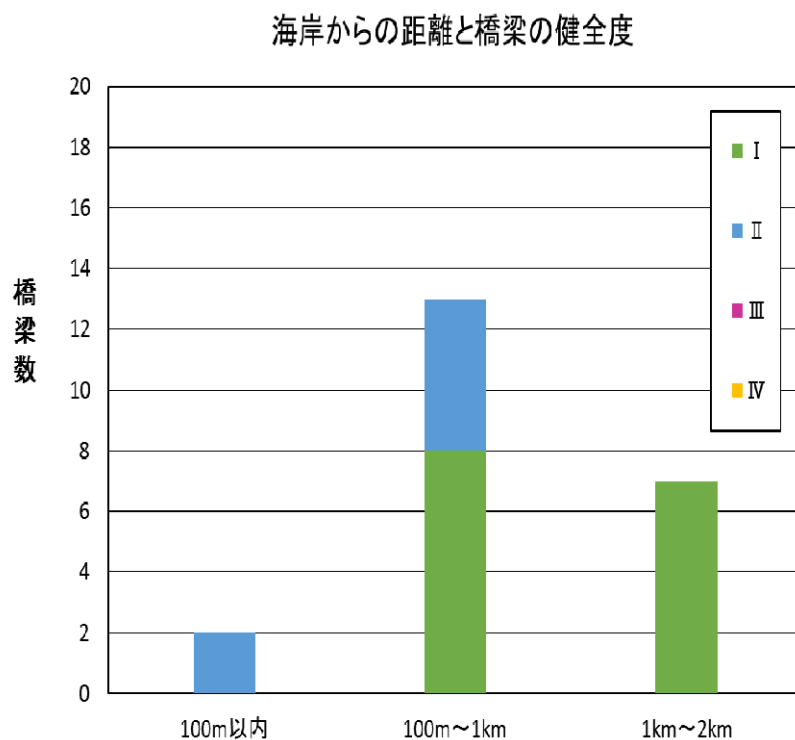


図 - 9

8. 伊平屋村の橋梁における現状と課題

伊平屋村の橋梁は比較的新しく、健全度Ⅰの橋梁が約7割の15橋、健全度Ⅱの橋梁が約3割の7橋、健全度がⅢ以上の橋梁はない。また、対象橋梁22橋のうち、供用開始時期が把握できたのは6橋のみであるが、30年後には供用年数が50年を超える橋梁数が急増することが明確となった。また、全ての橋梁は塩害を受けやすい環境にあるため、劣化は確実に促進するものと考えられる。今後の課題として、早急に適正な橋梁の長寿命化並びに維持管理費用の縮減と平準化を検討し、予防保全型の管理体制に移行する必要がある。

2. 維持管理の基本的な考え方

◆橋梁の維持管理

- 5年に1回の定期点検により橋梁の健全性を確認しています。
- 点検の結果は、健全性の診断を行い判定区分（Ⅰ～Ⅳ）で示します。
- 新点検要領による点検をH29に実施しました。その結果、健全度Ⅰの橋梁が15橋、健全度Ⅱが7橋、健全度ⅢおよびⅣはありませんでした。

橋梁毎の健全性の区分

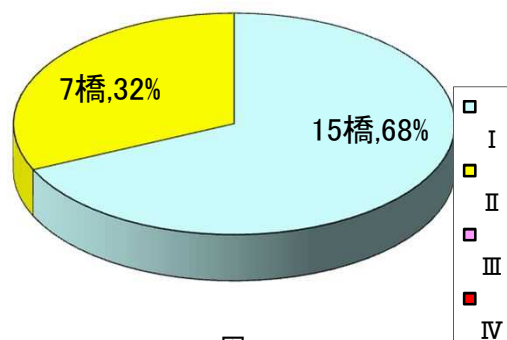


図 - 10

健全性の診断

表 - 2

区分		定義
Ⅰ	健全	道路の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	道路の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずるのが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	道路の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずるのが望ましい状態
Ⅳ	緊急措置段階	道路の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずるのが望ましい状態

3. 長寿命化修繕計画の方針

(1) 長寿命化修繕計画の効果

橋梁の長寿命化修繕計画を策定することにより、以下のような効果が得られます。

- ① 将来の橋梁に係る維持管理・更新費用の把握
- ② ライフサイクルコスト（LCC）の最小化＝「維持管理費用の縮減」
- ③ 安全で健全な橋梁の維持と道路ネットワークの確保
- ④ アカウンタビリティ（説明責任）の向上

(2) 長寿命化修繕計画の基本方針

国土交通省の橋梁定期点検要領等に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、以下の方針で橋梁の維持管理を実施していきます。

- ① これまでの対処療法的な維持管理から予防保全型の維持管理へ転換します。
- ② 伊平屋村の特徴を踏まえた的確な方法で維持管理を実施します。
- ③ 橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃など実施します。
- ④ ライフサイクルコスト（LCC）の低減による維持管理費の縮減を図ります。
- ⑤ 予算の平準化により維持修繕の推進を図ります。

(3) 計画期間および計画見直し時期

中期計画：平成30年度（2018年）～平成39年度（2027年）の10年間

長期計画：平成30年度（2018年）～平成79年度（2067年）の50年間

ただし、中期計画、長期計画とともに、10年間で1サイクルとし、5年毎に定期点検の結果に応じて計画を見直すことがあります。

(4) 長寿命化修繕計画に基づく管理フロー

以下のように、長寿命化修繕計画に基づいて橋梁の維持管理を実施していきます。

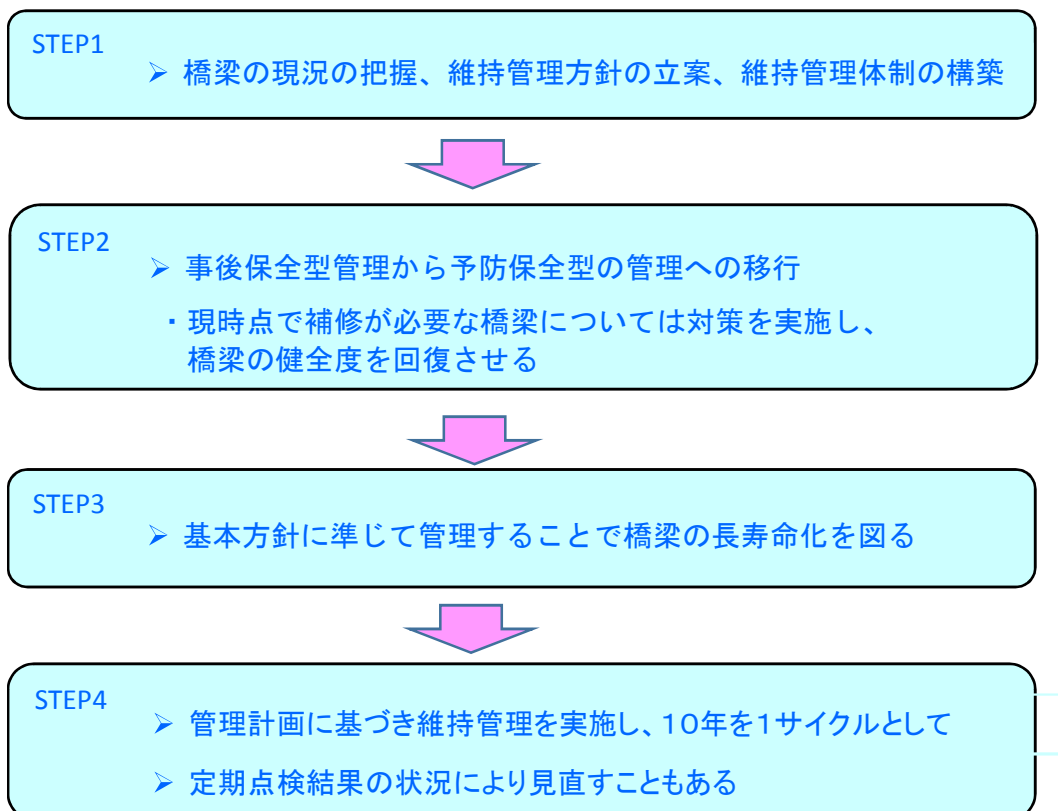


図-11 長寿命化修繕計画による管理フロー

(5) 修繕優先度の設定

優先度の設定

★今後10年間における優先度の考え方

(長寿命化修繕計画)

健全度で優先順位をつける。健全度が同じ場合は、重要度の高いものを優先する。

★10年以降における優先度の考え方

(中長期計画)

健全度を損傷度に変換(損傷度=100-健全度)し、重要度との合計で評価する。

★合計する場合は、損傷度に重みを置く。

(損傷度:重要度=6:4とするケースが多い)

- ① 限られた予算の中で、全ての橋梁・函渠を効果的・効率的に管理するには橋梁・函渠の修繕を実施するための優先順位（修繕優先度）を設定して、橋梁・函渠の維持管理を行うことが必要。
- ② 修繕優先度は、点検の結果から判断される健全度を基に、劣化損傷の深刻なものから優先付するのが基本であるが、予算を効率的に投資するためには、橋梁、函渠の持つ重要度により、順位を調整することが重要となる。

表-3 重要度判定区分および評価指標配点

【伊平屋村重要度項目および重み係数一覧】							
評価指標		区分 (レベル)		重み係数	評価指標配点	区分別配点	備考
(1) (2)	緊急輸送道路 重要施設アクセス路	指定あり		0.100	10.0	10.0	緊急輸送路または重要施設にアクセスのいずれかに該当すれば得点
		指定なし				0.0	
(3)	道路種別	交通量 (全車)	1級道路	0.060	6.0	6.0	※独自で設定
			2級道路			3.0	
			その他			0.0	
(4)	バス路線	運行あり		0.000	0.0	0.0	※独自で設定
		—				0.0	
(5)	迂回路の有無	運行なし		0.040	4.0	0.0	※独自で設定
		—				0.0	
(6)	観光地アクセス	迂回路なし		0.050	5.0	4.0	※独自で設定
		迂回路あり				0.0	
		観光地アクセス路線				5.0	
(7)	塩害地域	その他		0.120	12.0	0.0	
		海岸線から100m以内				12.0	
		海岸線から100~1000m				6.0	
		海岸線から1000~2000m				3.0	
(8)	竣工年次 (供用年数)	海岸線から2000m以上		0.080	8.0	0.0	※独自で設定
		昭和47年以前				5.0	
		昭和47年以降平成6年以前				3.0	
		平成6年以降				0.0	
(9)	橋長	平成10年以前に竣工した鋼橋		0.400	40.0	+3.0	鋼橋のみ摘要
		橋長100m以上				40.0	※独自で設定
		橋長50m以上100m未満				20.0	
		橋長15m以上50m未満				10.0	
		橋長15m未満				0.0	
(10)	交差条件 (第三者被害)	跨道橋 (高速道路)		0.100	10.0	10.0	※独自で設定
		跨道橋 (国道)				5.0	
		跨道橋 (その他)				2.5	
		桁下が公園・駐車場など				1.3	
		なし				0.0	
(11)	立地条件 (沿道環境)	D1D地区 (人口集中地区)		0.050	5.0	2.0	※独自で設定
		非市街地部 (平地、山地)				0.0	
		病院、学校隣地				+3.0	

伊平屋村における重要度評価結果を下記の図-9のように利用します。

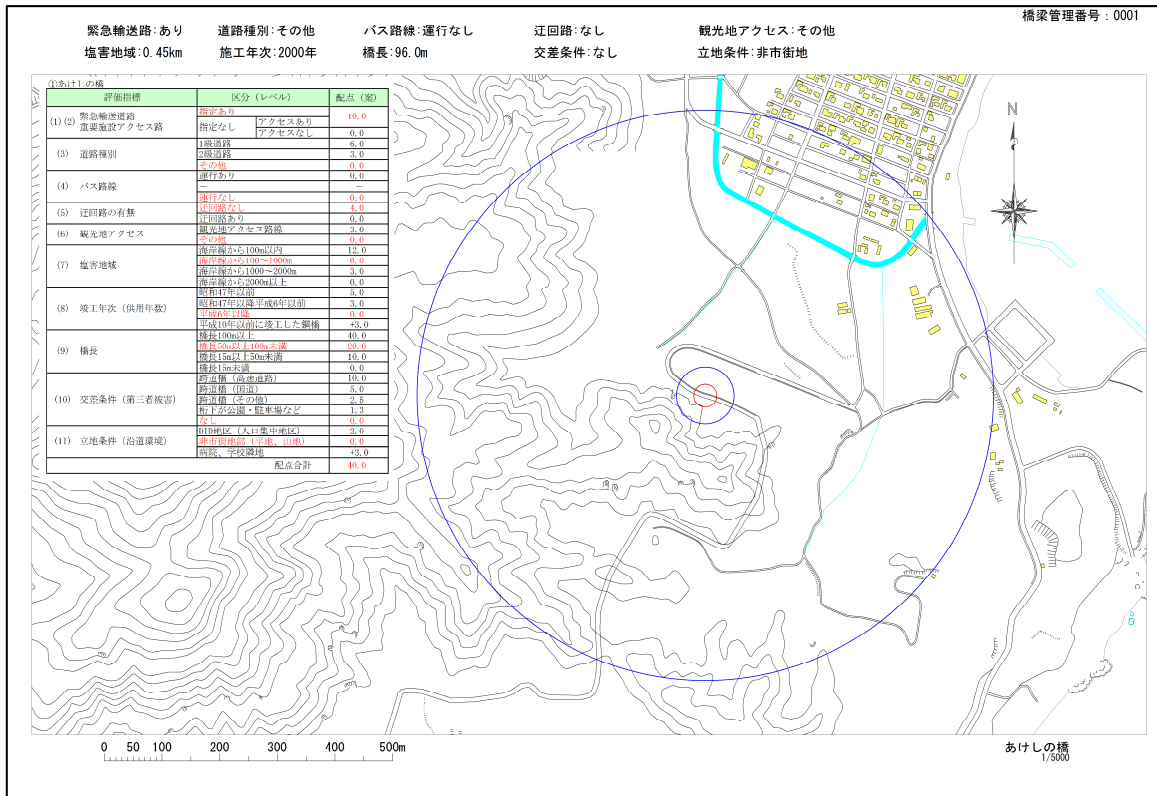


図-12 伊平屋村重要度評価結果の整理例

4. 橋梁保全の取組み

◆計画期間

- 5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかになるよう計画期間は10年とします。



図 - 13

◆修繕計画

- 伊平屋村が管理する22橋について平成29年度に点検を実施しました。
- 点検の結果、健全性の診断でⅢおよびⅡとなった橋梁を主な対象に、修繕（補修）を実施する計画です。
- 定期点検は、5年に1度実施する計画です。
（修繕計画については、点検結果の状況に応じて見直すことがあります。）

◆コスト縮減取組み

- 以下の取組みなどにより、コスト縮減に努めます。
- 新技術の採用
 - 他の工事とあわせた修繕の実施

◆施設個別計画の策定方針

- 個別施設計画の策定は、以下の方針で行っています。
- 伊平屋村が管理する22橋を対象とします。
 - 道路施設利用者の安全性向上と橋梁の長寿命化を図るため、これまでの「事後保全型」の維持管理から、「予防保全型」の維持管理へ転換します。
 - 個別施設計画は、定期点検の結果を基に策定し、見直す場合もあります。

点検結果一覧表

NO	橋梁名・函渠名	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用 年数	橋長[m]	径間数	部材単位の診断						主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	対策 区分 の評価	最新 点検 年度
									上部構造(下段はBOX)			下部 構造	支承部	その他	対象部材	変状の種類			
									主桁 本体	横桁 継手	床版 ウイング								
1	あけしの橋	我喜屋ダム線	伊平屋村 字我喜屋	プレテン中空床版	2000年	18年	96.0	4	II		I	II	II	II	主桁 支承	ひびわれ 防食機能の劣化	II	C1	H29
2	こえしの橋	我喜屋ダム線	伊平屋村 字我喜屋	プレテン中空床版	2001年	17年	14.1	1	I		I	I		I	橋台	ひびわれ 遊離石灰	I	B	H29
3	いちかわおおはし	我喜屋ダム線	伊平屋村 字我喜屋	プレテン中空床版	2002年	16年	12.4	1	I		I	I		I	主桁 橋台	ひびわれ 遊離石灰	I	B	H29
4	あしち大橋	我喜屋ダム線	伊平屋村 字我喜屋	ポステン箱桁	2007年	11年	36.0	1	I		I	I		II	主桁・橋台 舗装	ひびわれ 路面の凹凸	I	B	H29
5	スイザ橋	我喜屋西線	伊平屋村 字我喜屋	RC T桁	1981年	37年	7.6	1	II	I	II	II	I	I	主桁・床版	ひびわれ・うき 剥離・鉄筋露出	II	C1 (S1)	H29
6	中ノ川橋	我喜屋2号線	伊平屋村 字我喜屋	RC BOXカルバート	不明	不明	7.5	1	II		II			II	頂版・側壁 ウイング	うき・ひびわれ	II	C1	H29
7	池川橋	我喜屋3号線	伊平屋村 字我喜屋	RC BOXカルバート	不明	不明	7.5	1	II		I			I	頂版	剥離・鉄筋露出	II	C1	H29
8	4-1号橋	我喜屋4号線	伊平屋村 字我喜屋	RC BOXカルバート	不明	不明	7.3	1	II		I			I	隔壁	剥離・鉄筋露出	II	C1	H29
9	大崎橋	我喜屋5号線	伊平屋村 字我喜屋	RC BOXカルバート	不明	不明	2.0	1	I		I			I	頂版・側壁	うき	I	B	H29
10	5-1号橋	我喜屋5号線	伊平屋村 字我喜屋	RC BOXカルバート	不明	不明	3.2	1	I		I			I	頂版	うき	I	B	H29
11	花鳥橋	我喜屋29号線	伊平屋村 字我喜屋	RC BOXカルバート	不明	不明	5.5	1	II		I			II	側壁	ひびわれ	II	C1	H29
12	中の川橋	田名西線	伊平屋村 字田名	RC床版橋	不明	不明	8.4	1			I	I	I	II	床版	うき 剥離・鉄筋露出	I	B	H29
13	田名1号橋	田名5号線	伊平屋村 字田名	RC床版橋	不明	不明	3.6	1			I	I		II	床版 橋台	うき 遊離石灰	I	B	H29
14	田名2号橋	田名7号線	伊平屋村 字田名	RC床版橋	不明	不明	3.8	1			I	I		II	床版 防護柵	ひびわれ 腐食	I	B	H29
15	田名3号橋	田名8号線	伊平屋村 字田名	RC床版橋	不明	不明	3.4	1			I	I		II	橋台 添加物	漏水跡 防食機能の劣化	I	B	H29
16	田名4号橋	田名16号線	伊平屋村 字田名	RC床版橋	不明	不明	3.6	1			I	I		II	橋台 防護柵	変形・欠損 腐食	I	B	H29
17	田名5号橋	田名29号線	伊平屋村 字田名	RC床版橋	不明	不明	3.5	1			I	I		II	床版 添加物	うき 腐食	I	B	H29
18	田名6号橋	田名34号線	伊平屋村 字田名	RC BOXカルバート	不明	不明	2.6	1	I		I			I	頂版 (吐口)	漏水・遊離石灰	I	B	H29
19	ハウチナ橋	ハウチナ線	伊平屋村 字田名	RC BOXカルバート	不明	不明	2.0	1	I		I			II	頂版	剥離・鉄筋露出	I	B	H29
20	二叉橋	クマヤー線	伊平屋村 字田名	RC BOXカルバート	不明	不明	2.5	1	II		I			II	頂版 側壁	剥離・鉄筋露出 変形・欠損	II	C1	H29
21	石蔵橋	クマヤー線	伊平屋村 字田名	PC BOXカルバート	不明	不明	3.7	1	I	I	I			II	側壁 底板	亀甲状ひびわれ 土砂堆積	I	B	H29
22	さがま大橋	田名桃原線	伊平屋村 字田名	ポステン中空床版	1995年	23年	27.0	1	I		I	I		II	主桁 橋台	ひびわれ 漏水・滞水	I	B	H29

表-1 橋梁定期点検要領における対策区分の判定区分

区分		判定の内容
健全性	対策区分	
I	A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
	B	状況に応じて補修を行う必要がある。
II	C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
	M	維持工事で対応する必要がある。
III	C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
IV	E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
	E2	その他、緊急対応の必要がある。
	S1	詳細調査の必要がある。
	S2	追跡調査の必要がある。

判定区分: I (健全)

・損傷があり補修の必要があるものの、損傷の原因、規模が明確であり、直ちに補修するほどの緊急性がなく、放置しても少なくとも次回の定期点検まで(=5年程度以内)に構造物の安全性が著しく損なわれることはない判断できる状態。

判定区分: II (予防保全段階)

・損傷が進行しており、耐久性確保(予防保全)の観点から修繕計画に合わせながら適切な時期に補修等される必要があると判断できる状態。なお、橋梁構造の安全性の観点からは、直ちに補修するほどの緊急性はないもの。

判定区分: III (早期措置段階)

・損傷が相当程度進行し、当該部位、部材の機能や安全性の低下が著しく、橋梁構造の安全性の観点から劣化の状態や進行状況に合わせ早期に補修等される必要があると判断できる状態。

判定区分: IV (緊急措置段階)

・即時の通行規制や応急措置など、即時に何らかの安全措置を行う必要がある状態。

修繕優先度評価結果一覧

橋梁番号	橋梁名	路線名称	道路種別	所在地	橋種	架設年次	供用年数	橋長(m)	径間数	海岸線からの距離(km)	塩害対策区分	各重要度評価項目の評価点										各評価指標の評価点			修繕優先度評価点	修繕優先度順位		
												緊急輸送道路(重要施設アクセス路線)	道路種別	バス路線	迂回路の有無	観光地へのアクセス	塩害地域	竣工年次	橋長	交差条件	立地条件	重要度評価点	耐荷性	災害抵抗性			走行安全性	健全度評価点
0001	あけしの橋	我妻屋ダム線	1級	伊平屋村字我妻屋	プレテ ン中 空床 版	2000年	18年	96.0	4	0.45	A-II	100	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	6.0	0.0	20.0	0.0	0.0	73.7	76.0	73.0	74.47	31.32	1
0002	こえしの橋	我妻屋ダム線	1級	伊平屋村字我妻屋	プレテ ン中 空床 版	2001年	17年	14.1	1	0.5	A-II	100	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.5	89.3	81.7	85.45	16.73	9
0003	いちかわお おはし	我妻屋ダム線	1級	伊平屋村字我妻屋	プレテ ン中 空床 版	2002年	16年	12.4	1	0.25	A-I	100	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.8	88.9	76.7	85.98	16.41	10
0004	あしち大橋	我妻屋ダム線	1級	伊平屋村字我妻屋	ボス ン箱 桁	2007年	11年	36.0	1	0.2	A-I	100	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	6.0	0.0	10.0	0.0	0.0	80.3	84.3	74.3	80.74	23.56	4
0005	スワイザ橋	我妻屋西線	その他	伊平屋村字我妻屋	RC T 桁	1981年	37年	7.6	1	0.45	A-II	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	59.0	68.8	64.7	64.07	27.56	2
0006	中ノ川橋	我妻屋2号線	その他	伊平屋村字我妻屋	RC BOXカ ムハート	不明	不明	7.5	1	0.1	A-S	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	3.0	0.0	0.0	0.0	76.0	76.0	97.3	80.27	17.84	7
0007	池川橋	我妻屋3号線	その他	伊平屋村字我妻屋	RC BOXカ ムハート	不明	不明	7.5	1	0.2	A-I	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	78.0	86.0	90.0	83.60	13.44	15
0008	4-1号橋	我妻屋4号線	その他	伊平屋村字我妻屋	RC BOXカ ムハート	不明	不明	7.3	1	0.35	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	84.0	78.0	89.3	82.67	14.00	14
0009	大崎橋	我妻屋5号線	その他	伊平屋村字我妻屋	RC BOXカ ムハート	不明	不明	2.0	1	0.5	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	74.0	84.40	12.96	16
0010	5-1号橋	我妻屋5号線	その他	伊平屋村字我妻屋	RC BOXカ ムハート	不明	不明	3.2	1	0.65	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	90.0	87.60	11.04	22
0011	花鳥橋	我妻屋29号線	その他	伊平屋村字我妻屋	RC BOXカ ムハート	不明	不明	5.5	1	0.38	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	78.0	86.0	66.0	78.80	16.32	11
0012	中の川橋	田名西線	1級	伊平屋村字田名	RC床 版橋	不明	不明	8.4	1	1.2	A-II	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	58.0	81.20	16.88	8
0013	田名1号橋	田名5号線	その他	伊平屋村字田名	RC床 版橋	不明	不明	3.6	1	1.1	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	76.0	84.80	12.32	17
0014	田名2号橋	田名7号線	その他	伊平屋村字田名	RC床 版橋	不明	不明	3.8	1	1.1	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	60.0	81.60	14.24	12
0015	田名3号橋	田名9号線	その他	伊平屋村字田名	RC床 版橋	不明	不明	3.4	1	1.1	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	60.0	81.60	14.24	13
0016	田名4号橋	田名16号線	その他	伊平屋村字田名	RC床 版橋	不明	不明	3.6	1	1.1	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	76.0	84.80	12.32	18
0017	田名5号橋	田名29号線	その他	伊平屋村字田名	RC床 版橋	不明	不明	3.5	1	1.1	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	84.0	86.40	11.36	20
0018	田名6号橋	田名34号線	その他	伊平屋村字田名	RC BOXカ ムハート	不明	不明	2.6	1	1.1	A-II	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	84.0	86.40	11.36	21
0019	ホウチナ橋	ホウチナ線	その他	伊平屋村字田名	RC BOXカ ムハート	不明	不明	2.0	1	0.4	A-I	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	92.0	88.00	11.60	19
0020	二又橋	クマヤ線	1級	伊平屋村字田名	RC BOXカ ムハート	不明	不明	2.5	1	0.1	A-II	0.0	6.0	0.0	4.0	5.0	5.0	6.0	5.0	0.0	0.0	0.0	78.0	86.0	82.0	82.00	21.20	5
0021	石蔵橋	クマヤ線	1級	伊平屋村字田名	PC BOXカ ムハート	不明	不明	3.7	1	0.3	A-II	0.0	6.0	0.0	5.0	3.0	6.0	6.0	5.0	0.0	0.0	0.0	86.0	88.0	66.0	82.80	20.32	6
0022	さがま大橋	田名桃原線	1級	伊平屋村字田名	ボス ン中 空床 版	1995年	23年	27.0	1	0.6	A-II	0.0	6.0	0.0	4.0	5.0	6.0	6.0	6.0	10.0	0.0	3.0	85.5	86.0	64.5	81.50	27.10	3

修繕優先度評価点 = (100 - 健全度評価点) × 0.6 + 重要度評価点 × 0.4

橋梁点検計画・修繕計画(1)

No.	橋梁名	路線名称	供用開始年	橋長(m)	最新点検年度	事業費(千円)											備考	
						2018年 H30	2019年 H31	2020年 H32	2021年 H33	2022年 H34	2023年 H35	2024年 H36	2025年 H37	2026年 H38	2027年 H39			
1	あけしの橋	我喜屋ダム線	2000年	96.0	H29	1,300	2,500	2,500	950	0	0	0	0	0	0	950	0	注入工、断面修復工
2	スワイザ橋	我喜屋西線	1981年	7.6	H29	0	650	2,730	520	0	0	0	0	0	0	520	0	断面修復工、高欄設置等
3	さがま大橋	田名桃原線	1995年	27.0	H29	0	0	0	0	440	650	3,300	0	0	0	440	440	伸縮装置取替工、注入工、断面修復工
4	あしち大橋	我喜屋ダム線	2007年	36.0	H29	0	0	0	520	0	0	0	0	0	520	0	2033(H45)に補修予定	
5	二又橋	クマヤ一線	不明	2.5	H29	300	640	0	520	0	0	0	0	0	520	0	断面修復工	
6	石蔵橋	クマヤ一線	不明	3.7	H29	0	0	0	300	440	300	0	0	0	0	440	440	注入工、断面修復工
7	中ノ川橋	我喜屋2号線	不明	7.5	H29	0	0	0	400	440	2,600	0	0	0	0	440	440	注入工、断面修復工
8	中の川橋	田名西線	不明	8.4	H29	0	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	440	2029(H41)に補修予定
9	こえしの橋	我喜屋ダム線	2001年	14.1	H29	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	300	2028(H40)に補修予定	
10	いちかわおおほし	我喜屋ダム線	2002年	12.4	H29	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	300	2028(H40)に補修予定	
11	花鳥橋	我喜屋29号線	不明	5.5	H29	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	0	2029(H41)に補修予定	
12	田名2号橋	田名7号線	不明	3.8	H29	0	0	0	0	440	200	1,290	0	0	0	440	440	高欄取替工、注入工、断面修復工
13	田名3号橋	田名8号線	不明	3.4	H29	0	0	0	0	440	200	1,140	0	0	0	440	440	高欄取替工、注入工、断面修復工
14	4-1号橋	我喜屋4号線	不明	7.3	H29	0	0	0	300	440	540	0	0	0	0	440	440	断面修復工
15	池川橋	我喜屋3号線	不明	7.5	H29	0	0	0	440	300	640	0	0	0	440	0	断面修復工	
16	大崎橋	我喜屋5号線	不明	2.0	H29	0	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	440	2028(H40)に補修予定
17	田名1号橋	田名5号線	不明	3.6	H29	0	0	0	440	0	0	200	1,350	0	0	440	300	高欄取替工、注入工、断面修復工
18	田名4号橋	田名16号線	不明	3.6	H29	0	0	0	440	0	0	200	1,590	0	0	440	300	高欄取替工、注入工、断面修復工
19	ホウチナ橋	ホウチナ線	不明	2.0	H29	0	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	440	2029(H41)に補修予定
20	田名5号橋	田名29号線	不明	3.5	H29	0	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	440	2029(H41)に補修予定
21	田名6号橋	田名34号線	不明	2.6	H29	0	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	440	2029(H41)に補修予定
22	5-1号橋	我喜屋5号線	不明	3.2	H29	0	0	0	0	440	0	0	0	0	0	440	440	2029(H41)に補修予定
合計						1,600	3,790	5,230	6,150	5,580	5,130	6,130	2,940	5,450	6,480			

